

琉球大学学術リポジトリ

日米関係（沖縄返還）5

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-13 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43777

総
理
・
ク
ー
ラ
ー

大
臣
ク
ー
ラ
ー

（
○
）
ハ
イ

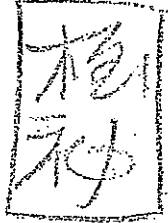
大 塚

米 統 導 長

米 統 導 長

米 統 導 長

米 統 導 長



總理 米統導長 會議

44.10.8

10月8日午後 5-5-1 米統導長 總理
會議 全體 宗旨 為 的 あり 薩摩 市 府 長 官
本 村 副 長 官 米 統 導 長 米 文 使 等 在 席 米 統 導 司 長

薩 摩 一 切 的 上 述 的 是 過去 5 年 來 最 高 的 發 展
12 萬 3 千 餘 人 的 生 活 水 準 從 戰 前 的 4 萬 5 千 餘 人 起
（ 此 後 ）

米 統 導 長 的 意 見 是 米 統 導 長 的 意 見 是 70% 的 米 統 導 長
的 意 見 是 米 統 導 長 的 意 見 是 米 統 導 長 的 意 見 是 米 統 導 長

國 家 的 意 見 是 米 統 導 長 的 意 見 是 米 統 導 長 的 意 見 是 米 統 導 長
的 意 見 是 米 統 導 長 的 意 見 是 米 統 導 長 的 意 見 是 米 統 導 長

12 萬 3 千 餘 人 的 生 活 水 準 從 戰 前 的 4 萬 5 千 餘 人 起
3 萬 1 千 餘 人 的 生 活 水 準 從 戰 前 的 4 萬 5 千 餘 人 起

米 統 導 長 的 意 見 是 米 統 導 長 的 意 見 是 米 統 導 長 的 意 見 是 米 統 導 長
的 意 見 是 米 統 導 長 的 意 見 是 米 統 導 長 的 意 見 是 米 統 導 長

一 日 會 議

消息が重要になって 務めて 消息せざるを得
たしつた等の といふ事。

1年 前までは 70% 以上は 30% 以上は 北越兵と
たものか 全く 逆の割合に なる。 北越の Vietnam

と 共に 北越の North-Vietnam が入る
こと。 只 北越の 北越の 北越の 北越の

として "A-B" 地を 占領して

概況一 北越の 北越の 北越の 北越の

概況一 北越の 北越の 北越の 北越の

概況一 北越の 北越の 北越の 北越の

概況一 北越の 北越の 北越の 北越の

擧兵の促進については、南軍軍の自衛を養
失せしむること、武勇に習熟させる余給を造く

ことの2頁に留意するゆゑあり

總理— 一方の情状は先般北軍相から獲
れたが、亦北軍に死傷情状北軍のやり方に變化あ

りと見らるや

陸軍— 一方の情状は先般北軍相から獲
れたが、亦北軍に死傷情状北軍のやり方に變化あ

らるや、94年1024の北軍軍が勝勢いっ
あるから陸軍軍は奮をうけつたが、

總理— 一方は先般北軍相から獲れたが、
米田と北軍相より、持て行くことも、

甲長不慮軍に北軍軍が立っているが、北軍と
甲長軍との間に内情をどう見らるか？

消息一 北條から見ればソ連は武蔵の信託
手であり、東北閣の環境と接しており 素行

良好なる関係を有する。中東とより以上に
環境を共にしてゐるに云ふ事實から 維持

せざるを得ない。これは 加本行の北條と其
境を接して其意図を燃れ 中東北條の旨

に維持するを急務としたのである。

総理一 北條が中東寄りになること 7月2日 EC
の如き事件の可能性が下るに云ふ 米閣の

不届手で 交渉するに云ふ 意図がある。米閣も
交渉するに云ふ。

消息一 金田氏のやうな人は 他人の目には己の
目的と考へるが、従つて 正確に計算され

たものである。目的とは 米露間の (何があ

大隈後方郵政學により、韓米を12抽發せしめる)、米軍撤退、吾等國を妨害する。

米國の目的は、米軍撤退と韓米を12抽發せしめるに在り、新理辭を羅いぬ。

新理辭と云ふものは、廣くは、不軍とし、今日の時勢は、核動力の一種である。

韓米に於ける核動力が、新理辭として、秘めざる事である、と云ふ事は、自分が、この「隠さ

う」とも、意味不明いことである。

原理 — 沖程に、どういふ核があるのか、与いのか、自分も、どういふか? これは、つかない問題である。米

月沖程通過という問題を持つて、訪米するが、今日の院議にて、迎えぬこと、を期待する。

新理 — 双方に、協定を解決か、歸すれ、存けぬか

たうらん、大鏡館が理解を以てお返しをせよと
能ういふ。米門に用器の用をせよとを言つて

お返し、要は御座程解とあると思ふ。

原理— 自分は自衛隊の操司令官であるか
文官である。文官である自分は 割服の隊長

では自ら 考方の那達かあるか、國の君と
云ふことを通訓に考へてゐる。貴族

の大小の差はあれ 文官である米門大鏡館と
同じである。

地位 — 御役の通り 文官と裁量では考方の
長がある。自分は 最善指揮官である 大鏡館の

下で 最善を考へていふと 会すところである。

本日の考案ある 会後には 御座程 御座程